

## オーストラリアの自動車市場の動向 ～EV普及の中での日本メーカーシェアの低下～

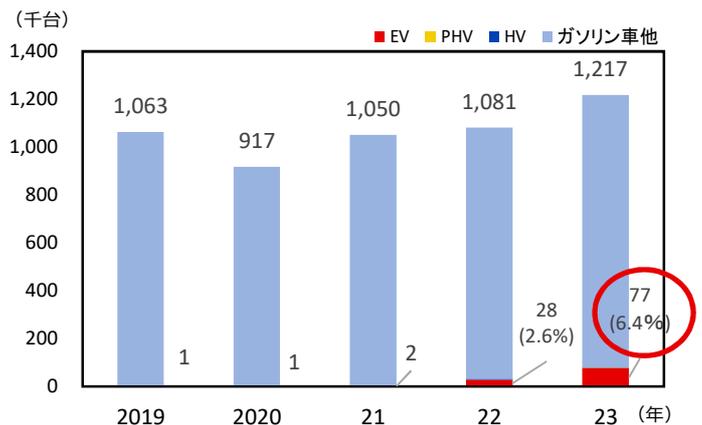
### 自動車販売動向とEV政策

オーストラリア（豪州）は人口約2,600万人、鉄鉱石や石炭、天然ガス等の資源・エネルギーの輸出国で、日本は代表的な貿易相手国の一つです。国内に自動車産業は無く、新車の全てを海外からの輸入しており、日本車は同国で圧倒的なシェアを占めています。

2023年の販売台数は121万台で、日本（同478万台）の4分の1の規模ですが、コロナ禍前を上回って増加基調が続いています（図表1）。

こうした中で、豪州政府は2022年7月にEVに対する輸入関税を撤廃するなど、価格面で普及を後押しする環境を整えてきました。そして、2023年4月には「国家EV戦略」を策定し、①手頃な価格のEV供給拡大、②EV関連インフラの構築、③EV需要の喚起などの目標を掲げて、普及拡大に取り組んでいます。

図表1 豪州の新車販売台数とEV比率の推移



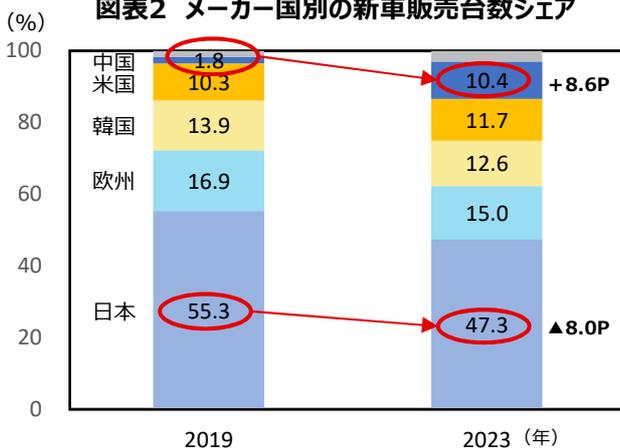
(注) 2023年の販売台数：PHVは150台、HVは3,011台にとどまる  
(資料) マークラインズ資料よりひろぎんHD経済産業調査部作成

### 期待される日本メーカーのEV投入

こうした政府戦略の下、2023年のEV販売比率は6.4%（日本は1.8%）に上昇していますが、この結果、新車市場に占める中国メーカーのシェアが2019年の1.8%から2023年には10.4%に高まる一方で、EV開発に後れをとる日本メーカーのシェアは同55.3%から47.3%へと軒並み低下しています（図表2・3）。

今後、政府の積極的な支援を受けてEV需要はさらに高まるとみられますが、中国メーカーの攻勢も一段と強まること予想され、日本メーカー各社の商品力の高いEVモデルの早期投入が待たれます。

図表2 メーカー国別の新車販売台数シェア



(資料) マークラインズ資料よりひろぎんHD経済産業調査部作成

図表3 日本メーカーの新車販売台数とシェア

メーカー別	販売台数			シェア		
	19年	23年	19年対比	19年	23年	19年対比
トヨタ	221	236	▲15	20.8	19.4	▲1.4
マツダ	98	100	▲2	9.2	8.2	▲1.0
三菱自工	83	64	▲19	7.8	5.2	▲2.6
SUBARU	40	46	▲6	3.8	3.8	0.0
日産	51	39	▲12	4.8	3.2	▲1.6

(注) 販売台数上位5社  
(資料) マークラインズ資料よりひろぎんHD経済産業調査部作成

- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：土居（Tel.082-247-4958）までお願いします。